Docker を使っていい感じに環境を作る

目次

- ・はじめに
- 導入
- インストール
- 用語と最低限のコマンド
- R 環境
- Python 環境

はじめに

この資料について:

- 研究に使うための開発環境の構築に Docker container を使いたいと きの参考資料の作成.
 - あまり時間をかけずに使えるように、やるべきことは必要最低限にとどめている。
- VSCode の拡張機能を使っている.

導入

Dockerとは...

コンテナ型 の仮想環境を作成,配布,実行するために用いられるプラットフォーム

- Docker の利点
 - ○環境の再現性
 - 配布可能である



ホストOS のカーネルを利用している \rightarrow 軽量, 高速!

アプリケーションごとに隔離 → 各コンテナは独立

インストール

ここでは, Windows に Docker をインストールする場合について説明する.

手順

- 1. WSL2 の有効化とインストール
- 2. Docker Desktop のインストール

WSL2 の有効化

参考:

【Windows10】WSL2の有効化とUbuntuのインストール方法 以前のバージョンの WSL の手動インストール手順

コントロールパネル > プログラム > プログラムと機能 にある『Windowsの機能の有効化または無効化』で

- Linux 用 Windows サブシステム
- 仮想マシンプラットフォーム

にチェックを入れ, $OK \rightarrow$ 再起動.

PowerShell を管理者として開き、以下のコマンドを実行.

dism.exe /online /enable-feature /featurename:VirtualMachinePlatform /all

このコマンドを実行することで、Virtual Machine Platform を有効にする. コマンド実行後、再起動する.

<u>以前のバージョンの WSL の手動インストール手順</u> の手順4 にある『x64 マシン用 WSL2 Linux カーネル更新プログラム パッケージ』を ダウンロードし、実行する. PowerShell を管理者として開き、以下のコマンドを実行.

wsl --set-default-version 2

このコマンドを実行することで、WSLのデフォルトのバージョンを2にする.

その後, Microsoft Store で 好きなディストリビューションをインストールする.

Ubuntu 20 あたりがいいと思う.

Remark

最近は、PowerShell で管理者権限で

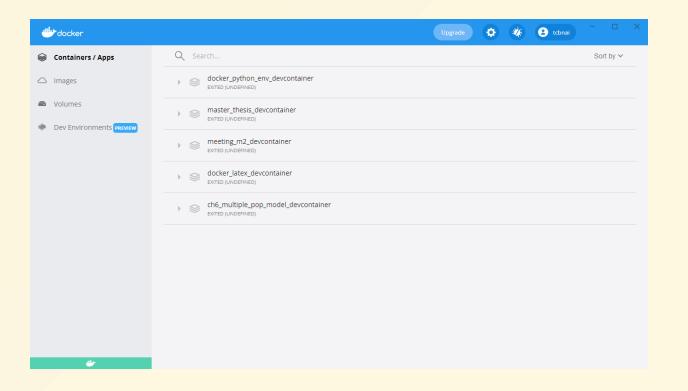
wsl --install

とすると, WSL を実行するために必要なすべてをインストールすることができるようになったらしい.

参考: WSL のインストール

Docker Desktop のインストール

<u>公式サイト</u>から exe ファイルをインストールして,実行. 指示に従ってインストールするだけなので,簡単.



設定

- WSL2 のメモリ食いすぎ問題
 - C:\Users\[username]\ に .wslconfig ファイルを作る.

.wslconfig の書き方 (参考: Configure Linux distributions):

```
[wsl2]
kernel=C:\\temp\\myCustomKernel
memory=4GB # Limits VM memory in WSL 2 to 4 GB
processors=2 # Makes the WSL 2 VM use two virtual processors
```

用語と最低限のコマンド

- コンテナ
 - 実行環境を他のプロセスから隔離し、その中でアプリケーションを動作させる技術
- ・イメージ
 - Docker コンテナの実行に必要なパッケージをまとめたもの

Docker は docker コマンドで操作する.

docker [コマンド] [操作] [オプション]

最低限のコマンド

最低限覚えておくべき (だと私が考える) コマンドを挙げる.

コマンド	操作
ps	コンテナー覧を参照する
run	イメージを取得し, コンテナを作成し, 起動する
stop	コンテナを停止する
rm	コンテナを削除する
image	イメージに対する操作をする

docker ps コマンド

コンテナの一覧を表示する.

```
C:\Users\stare\Documents\GitHub\TIL>docker ps
CONTAINER ID IMAGE COMMAND CREATED STATUS PORTS NAMES
```

```
C:\Users\stare\Documents\GitHub\TIL>docker ps -a
CONTAINER ID IMAGE COMMAND CREATED STATUS PORTS NAMES
029be545abe1 til_devcontainer_python "sleep infinity" 6 hours ago Exited (137) 15 minutes ago til_devcontainer_python_1
```

-a を付けると、停止しているコンテナも表示する.

docker run コマンド

docker run [オプション] イメージ シェル(e.g. /bin/bash)

- イメージを取得し(pull), コンテナを作成し(create), 起動する(start).
 - これら3つのコマンドをまとめたもの、

docker stop コマンド

docker stop コンテナ名 # コンテナ*ID*でも良い

よく使うオプション:

オプション	説明
name コンテナ名	コンテナ名をつける
-e 環境変数名=値	コンテナに渡す環境変数を設定する
-p ポート番号(ホスト):ポート番号(コンテナ)	ポート番号をマッピングする
-v ディレクトリ(ホスト): ディレクトリ(コンテナ)	コンテナの特定のディレクトリにホスト のディレクトリをマウントする
-dit	バックグラウンドで動かす
rm	コンテナの終了時,自動的に削除する

docker rm コマンド

docker rm コンテナ名 # コンテナ*ID* でも良い

• 停止しているコンテナを削除する.

docker image コマンド

docker image 操作

操作の例:

1s: ホストOSにあるイメージファイルの一覧を表示する

rm: イメージファイルを削除する

R 環境

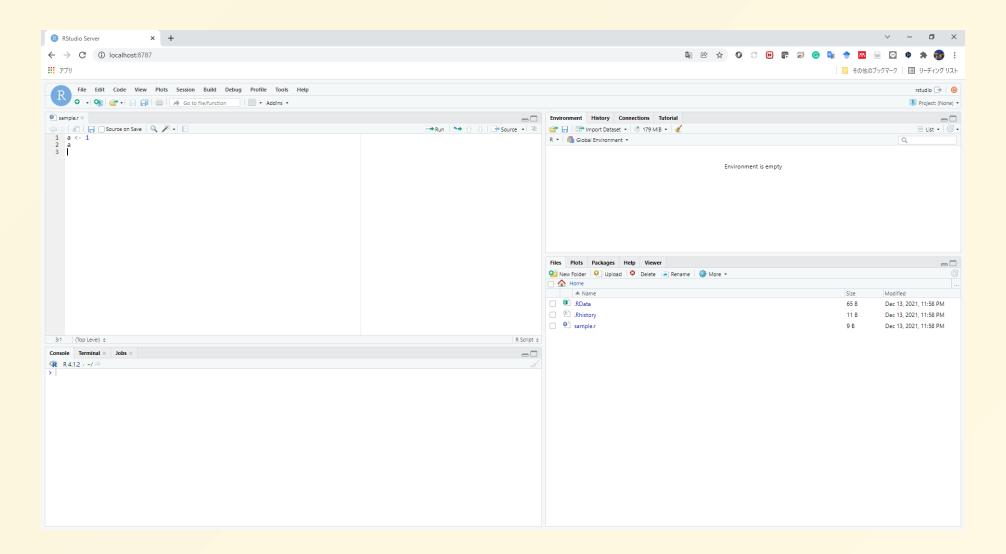
<u>rocker</u>を使う.

mountdir をマウントしてコンテナに入るには,以下のコマンドを実行する.

```
docker run --rm -d -p 8787:8787 -e PASSWORD=[yourpasswordhere] -v [mountdir]:/home/rstudio rocker/tidyverse
--rm: コンテナ停止後に削除する.
```

そして, http://localhost:8787 にアクセス. ユーザ名に rstudio, パスワードに自分が入力したパスワードを入れる.

ブラウザ上で R を実行できる.





Remark

- カレントディレクトリの指定について
 - Powershell の場合 \${pwd}
 - コマンドプロンプトの場合 %cd%
 - Linux の場合 \$(pwd)
- 終了時
 - docker ps コマンドで起動しているコンテナを調べる.
 - 該当するコンテナを docker stop [container name] で停止.
 - --rm オプションを付けているので, コンテナを停止したら削除される.

Python 環境

- カレントディレクトリをコンテナにマウントして、コンテナ内でカレントディレクトリ内のプログラムを実行したい。
- 開発は手元のエディタでしたい。
- → VSCode の Remote Development を使うと楽!

dockerfile

まず, 引っ張ってくる Docker Image を指定する.

例: <u>Python</u>

```
from python:3.8-buster # from image:tag という形
```

処理を書いていく.

```
ARG USERNAME=user # ARG は構築時にユーザが渡せる変数
ARG GROUPNAME=user
ARG UID=1000
ARG GID=1000
RUN groupadd -g ${GID} ${GROUPNAME} && \ # グループとユーザを追加する useradd -m -s /bin/bash -u ${UID} -g ${GID} ${USERNAME}
USER ${USERNAME} # ユーザを user にする
```

- デフォルトでは super user になっている.
- 新しく一般ユーザを作ることで、コンテナ内で作成されたファイル をホストOSの一般ユーザでも扱えるようにする。

```
RUN mkdir /home/${USERNAME}/code
WORKDIR /home/${USERNAME}/code # workdir の設定
ADD ./requirements.txt /home/${USERNAME}/code
# dockerfile と同階層にある requirements.txt を workdir に追加
```

```
RUN pip3 install -r requirements.txt # python image を用いているので, pip3 を使える
ADD . /home/${USERNAME}/code/ # dockerfile と同階層のものを workdir に追加
```

この dockerfile によって、以下が実現される.

- Python 3.8 系の環境構築
- コンテナ内で一般ユーザとしてコマンドを実行すること

@SeeKT

docker-compose.yml

```
version: "3"
services:
   python: # ここの名前とdevcontainer.jsonの"service"を一致させる
   build: . # 同階層のdockerfileからビルドする
   command: sleep infinity
   volumes:
        - ../:/home/user/code # 上階層のディレクトリをDocker Container上のworkdirにマウント
   environment:
        SHELL: /bin/bash
```

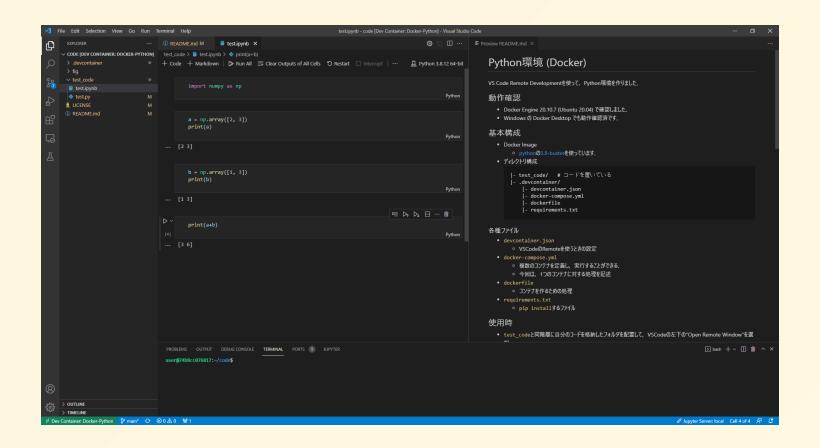
dockerfile の親ディレクトリ (つまりカレントディレクトリ) を, コンテナ内の /home/user/code にマウントすることで, カレントディレクトリ内のファイルをコンテナ内で扱うことができる!

devcontainer.json

```
// 名前は任意
"name": "Docker-Python",
// dockercomposefileの場所 (同階層に置いている)
"dockerComposeFile": "docker-compose.yml",
// 使う拡張機能
"extensions": [
// ここに記載している"service"名とdocker-compose.ymlに記載している"service"を一致させる
"service": "python",
// コンテナ内に入ったときのworkdir
"workspaceFolder": "/home/user/code",
// VSCodeを閉じたときのアクション
"shutdownAction": "stopCompose"
```

VSCode の画面の左下 (Open a remote window) をクリック

- → Reopen in Container をクリック
- → エラーがなければコンテナ内に入ることができる



requirements.txt

pip install するパッケージを記述したファイル. 例えば...

```
pylint
numpy
scipy
sympy
matplotlib
statsmodels
sklearn
pandas
networkx
ipykernel
jupyter
```

まとめ

- Docker Container を使った環境構築
 - 再現性
- Docker Desktop のインストール
- Docker Container の例
 - \circ R
 - Python

補足 (GPU 環境で pytorch 等を使う場合, Ubuntu)

ここでは, Ubuntu 20 に Docker を入れ, コンテナで GPU を認識させる方法を簡単にまとめる.

- 1. NVIDIA Driver のインストール
- 2. Docker Engine のインストール
- 3. Nvidia Container Toolkit の設定
- 4. dockerfile の作成
- 5. docker-compose.yml の作成

NVIDIA Driver のインストール

たぶんここが一番ハマる箇所だと思う(やった記録を残すの忘れた).

参考:

- Ubuntu 20.04セットアップ
- <u>ubuntuにCUDA、nvidiaドライバをインストールするメモ</u>
- (1) 現状入っている CUDA, NVIDIA Driver の確認:

```
dpkg -l | grep nvidia
dpkg -l | grep cuda
```

(2) 現状入っている CUDA, NVIDIA Driver の削除:

```
sudo apt-get --purge remove nvidia-*
sudo apt-get --purge remove cuda-*
```

(3) NVIDIA Driver のインストール:

```
ubuntu-drivers devices # 推奨ドライバの確認
sudo add-apt-repository ppa:graphics-drivers/ppa
sudo apt update
sudo apt install nvidia-driver-470 # e.g. 470をインストールする場合
sudo reboot
```

(4) 確認: nvidia-smi コマンドを実行する.

```
tcbn@tcbn-V530-15ICR:~$ nvidia-smi
Wed Dec 1 18:33:54 2021
 NVIDIA-SMI 470.82.00 Driver Version: 470.82.00 CUDA Version: 11.4
 GPU Name Persistence-M| Bus-Id Disp.A | Volatile Uncorr. ECC
 Fan Temp Perf Pwr:Usage/Cap| Memory-Usage | GPU-Util Compute M.
                                                        MIG M.
0 NVIDIA GeForce ... Off | 00000000:01:00.0 On |
                                                          N/A
           P0 N/A / 75W | 319MiB / 4031MiB | 0% Default
 30% 43C
                                                          N/A
 Processes:
  GPU
      GI CI
              PID
                                                    GPU Memory
                      Type Process name
                                                     Usage
      N/A N/A
                  985
                           /usr/lib/xorg/Xorg
                                                        35MiB
                           /usr/lib/xorg/Xorg
      N/A N/A
                  3792
                                                        122MiB
      N/A N/A
                  3931
                         G /usr/bin/gnome-shell
                                                        32MiB
                  6247
                       G ...AAAAAAAAA ---shared-files
      N/A N/A
                                                        39MiB
       N/A N/A
                  6942
                         G ...AAAAAAAA = --shared-files
                                                        78MiB
```

Docker Engine のインストール

以下のシェルスクリプトを作成した. これを実行する.

```
#!/bin/bash
# Require password
printf "password: "
read -s password
# Update and Upgrade
echo "$password" | sudo -S apt update && sudo -S apt -y upgrade
# Install Docker
## Delete old version (if exists)
sudo -S apt -y remove docker docker-engine docker.io containerd docker-ce docker-ce-cli
sudo -S apt -y autoremove
```

```
## Install required software
sudo -S apt update
sudo -S apt -y install apt-transport-https ca-certificates curl software-properties-common
sudo -S apt -y install linux-image-generic
## Set docker repository
curl -fsSL https://download.docker.com/linux/ubuntu/gpg | sudo apt-key add -
apt-key fingerprint 0EBFCD88
sudo -S add-apt-repository \
   $(lsb_release -sc) \
sudo -S apt update
## Install docker.io
sudo -S apt -y install docker.io containerd docker-compose
## Add authority
sudo -S usermod -aG docker $USER
## Set autostart
sudo -S systemctl unmask docker.service
sudo -S systemctl enable docker
sudo -S systemctl is-enabled docker
## let user ubuntu use docker
sudo gpasswd -a $USER docker
```

Nvidia Container Toolkit の設定

参考: Setting up NVIDIA Container Toolkit

```
distribution=$(. /etc/os-release;echo $ID$VERSION_ID) \
   && curl -s -L https://nvidia.github.io/nvidia-docker/gpgkey | sudo apt-key add - \
   && curl -s -L https://nvidia.github.io/nvidia-docker/$distribution/nvidia-docker.list | sudo tee /etc/apt/sources.list.d/nvidia-docker.list
```

```
sudo apt-get update
sudo apt-get install -y nvidia-docker2
sudo systemctl restart docker
```

リポジトリと GPG キーの設定をして, nvidia-docker2 をインストールする.

動くかどうかテストする.

sudo docker run --rm --gpus all nvidia/cuda:11.0-base nvidia-smi

実行して次ページのような出力が得られれば問題なく動く.

```
Wed Dec 1 09:34:41 2021
 NVIDIA-SMI 470.82.00 Driver Version: 470.82.00 CUDA Version: 11.4
 GPU Name Persistence-M| Bus-Id Disp.A | Volatile Uncorr. ECC |
 Fan Temp Perf Pwr:Usage/Cap| Memory-Usage | GPU-Util Compute M. |
                                                  MIG M.
NVIDIA GeForce ... Off | 00000000:01:00.0
                                              N/A
 30% 42C P0 N/A / 75W | 316MiB / 4031MiB | 0% Default
                                                    N/A
 Processes:
           PID Type Process name
                                               GPU Memory
  GPU
    GI CI
                                               Usage
```

dockerfile の作成

例えば, イメージファイルを,

FROM nvidia/cuda:11.0.3-devel-ubuntu20.04

にする. あとは22-24ページと同じ.

これでビルドして, GPU を使えるか確認する.

```
user@5ee05258584f:~/code$ nvcc -V
nvcc: NVIDIA (R) Cuda compiler driver
Copyright (c) 2005-2020 NVIDIA Corporation
Built on Wed_Jul_22_19:09:09_PDT_2020
Cuda compilation tools, release 11.0, V11.0.221
Build cuda_11.0_bu.TC445_37.28845127_0
```

```
user@5ee05258584f:~/code$ python3
Python 3.8.10 (default, Jun 2 2021, 10:49:15)
[GCC 9.4.0] on linux
Type "help", "copyright", "credits" or "license" for more information.
>>> import torch
>>> print(torch.cuda.is_available())
True
```

docker-compose.yml の作成

```
version: "3"
services:
   python: # ここの名前とdevcontainer.jsonの"service"を一致させる
       |build: # 同階層のdockerfileからビルドする
       command: >
           sh -c "nvidia-smi && sleep infinity"
       volumes:
          - ../:/home/user/code # 上階層のディレクトリをDocker Container上のworkdirにマウント
       environment:
           SHELL: /bin/bash
       deploy:
           resources:
               reservations:
                  devices:
                       driver: nvidia
                        capabilities: [gpu]
```